

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和7年 2月 13日

事業所名：多機能型事業所フェローLabo

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○			少し体を動かせたり、適度な距離感を保てるよう座席等の配慮を行ったりしている。相談室を使いクールダウンを行えるスペースを確保している。	14	2	0	1		利用人数に応じて座席の配置の変更を行ったり、レイアウトの見直しを行ったりしていくことでゆとりをもって活動できるよう配慮していく。
	2 職員の適切な配置	○			アルバイトスタッフを構えることで、子どもたちとしっかり関われる人員を確保するよう心掛けています。引き続き、スタッフの声を掛け合いや目配り、気配りがよりできるとよい。	15	0	0	2	子供同士のトラブルがあった場合、スタッフさんが見れていない時があった。職員さんが少ないのかな？と感じることはあるが、この事業所に限らず、どんな職業でも今は人手不足なところが多いのかな？と感じている。	利用人数に応じて、アルバイトの配置を随時行っていく。トラブルにスタッフが気づけるよう、危険予測のための話し合いの場を定期的に設けていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○			視覚支援ツール(約束カードやスケジュールなど)も活用を行っているが、必要に応じて追加での作成や見直しを行っていく必要があると感じている。	12	3	0	2		用途に応じて最適なレイアウトや視覚支援を取り入れた本人にもわかりやすい説明を心掛ける。(車椅子の利用時の座席配慮等)
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			整理整頓を行い、子どもたちがより過ごしやすい環境整備が必要だと感じている。	16	1	0	0		毎朝と子どもの帰宅後に掃除を行っており、今後も継続していく。また、子どもたちが触る場所の整理整頓に力を入れていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○			1年ごとに方針、目標を掲げている。振り返りや見直しの時間をとれていないことがあるため、。申し送りノートや共有ツールを活用していく。アルバイトスタッフとの連携も図っていけるようミーティングの場も作っていく。						申し送り以外にも定期的にミーティングを行い、振り返りや見直しの機会を作っていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			○	第三者による外部評価は行っていない。						
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			内部で定期的に勉強会を実施したり、外部の研修に随時参加したりしている。						ケース等を用いて、内部での勉強会をより充実させていく。また、外部研修にも積極的に参加していく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な 支援の 提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○			半年に1回、事業所に来所いただきモニタリングを行っている。状況に応じて、お電話またはzoomも活用しながら直接話しをする場を作っている。	17	0	0	0		直接お会いして、保護者の方とお話する場を作っているが、連絡帳やお電話、zoom等も活用し、情報共有の機会を積極的に作っていく。 初回の支援計画作成の際は、契約時に丁寧な聞き取りを行う。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○			出来る限り、具体的な活動内容やかかわり方を記載するようにしている。計画に対しての具体的な支援内容の意見を出す機会があるといいと思う。	17	0	0	0		職員間で、個々の発達課題に合わせた活動の立案や支援に関して随時話し合う機会を大事にしていく。また、個別支援計画に基づいた適切な支援や活動の見直しを行っていく。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○			集団活動(小集団での活動)に関しては、毎月のイベントやレクリエーションの時間の中で取り入れている。子どもたちに応じて、より多くが参加できる活動の提案があるとよい。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
適切な支援の提供（続き）	4	○			支援計画に沿った支援を心がけている。子どもたちのやりたいことや成長に合わせた、定期的な見直しも必要だと感じている。	17	0	0	0	申し送りの時間も活用し、定期的に支援計画の見直しを行っていく。子どもたちの発達段階やニーズに応じた適切な支援を心掛ける。
	5	○			季節に合わせて行える活動やイベント等の立案を行っている。定期的にグループ全体でのイベントも開催を行っている。					「遊び」と「IT」を活かして、子どもたちの成長に繋がるイベントや活動を立案していく。
	6	○			スタッフの得意分野を活かし、ICT以外の活動も取り入れている。（制作活動やお料理イベント等） 今年は新しくiPadでできるプログラミングツールやボードゲームなどを導入した。	14	2	0	1	新しく導入したプログラミングツールやボードゲームを子どもたちへ提示し、選択肢を増やしていくことで活動が固定化しないように心掛ける。
	7	○			休日はイベント活動や日中に公園活動を取り入れている。新しく目標達成カードという仕組みを取り入れ、1日の活動の目標を子どもたちに決めてもらい、一緒に振り返る時間を作っている。					特に、長期休暇に関してはプチイベント等も随時取り入れていく事で、新しい事にチャレンジしたり、楽しんだりできる機会も増やしていく。目標達成カードを活用しながら、毎日の目標を意識して過ごせるよう支援していく。
	8	○			毎日申し送りノートの活用と、適宜口頭での確認を行っている。アルバイトスタッフへの情報共有をより強化していく。					引き続き、申し送りノートと口頭での情報共有の時間を作っていく。
	9	○			毎日の申し送りノートや日報での共有、また翌日口頭での申し送りの時間確保を心掛けている。					引き続き、申し送りノートと口頭での情報共有の時間を作っていく。
10	○			活動記録への記載を行っている。支援の検証・改善の時間は今後定期的に時間を作っていきたい。					申し送りの時間も活用し、支援の改善を図っていけるよう努める。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標			
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見	
関係機関との連携	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○			契約時の聞き取りや半年に1回モニタリングを実施し、計画の作成、見直しを行っている。						半年を待たなくとも、適宜で個別支援計画の見直しは行っていく。	
	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○			学校、関係機関からの要請に応じて、随時担当者会議への三アを行っている。子どもの状況を事業所内でしっかり把握できるように会議前にはスタッフ内での情報共有も行っていきたい。						今後も、学校、関係機関からの要請に応じて、随時担当者会に参加する。	
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施				該当者なし							
関係機関との連携(続き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備				該当者なし							
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有		○		相談員さんとの情報共有は行っているが、幼稚園や学校等とは、十分に行うことはできていない。学校とは支援計画を共有するなど、連携を図ることが必要だと感じている。							適宜必要な関係機関と連携を図っていく。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	○			他事業所との連携は、必要に応じて行っている。							適宜必要な関係機関と連携を図っていく。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進			○	専門性の高い講師の外部研修を受講したりはしている。 児童発達支援センターとの連携は不十分なので、必要に応じて連携を図っていきたい。							児童発達支援センターとの連携は不十分なので、必要に応じて連携は図っていきたい。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
)	7			○	地域の子供達と触れ合う機会を作れるよう秋祭りや関係機関がつながりを持てるようスマイルプロジェクトというイベントを開催した。今後も積極的に地域に開かれたイベントや交流の機会を作っていきたい。	4	1	1	11	あるとお聞きしたことがある気はするが、個人的にそういったことに興味がないため覚えていない。	引き続き、休日の公園活動や、イベント等で、地域の子供達と触れ合う機会を設ける中で、相互理解に繋がるよう努めていく。
	8	○			地域に向けや秋祭りを毎年開催している。引き続き、地域の方にも参加いただけるイベント等も行っていく。	/	/	/	/	/	継続して、地域の方も参加できるようなイベントを企画・実行していく。
保護者への説明責任・連携支援	1	○			契約時に丁寧に説明するよう意識している。	16	0	0	1		引き続き丁寧な説明を心掛ける。必要に応じて、個別にご説明させて頂く等の対応もしていく。
	2	○			随時丁寧に説明するよう意識している。	16	0	1	0		直接お会いしてのモニタリングを増やしていき、説明不足とならないように、日々の連絡帳等でもご様子を丁寧にお伝えしていく。
	3			○	ペアレントトレーニングは不十分である。今後、家庭でのお子さんとかかわり方等の相談・助言も積極的に行っていきたい。	3	4	1	9		今後は、しばらく実施出来ていない保護者勉強会等も開催・活用しながら、ペアレントトレーニングを充実させていく。
	4	○			モニタリングや、お電話、連絡帳等でのやり取りに共通理解を図ろうと意識している。学校、家庭、他事業所ともより連携を図ることが必要だと感じている。	15	1	0	1		半年に1回のモニタリング、日々の電話や連絡帳でのやりとりにて、共通理解をはかっていく。また、必要に応じて学校や他事業所等の関係機関との連携も図っていく。
	5	○			日々、お電話や連絡帳、送迎時などのやり取りにて相談を受けることがあるが、スタッフの相談援助のスキルを身に付けていくことが必要だと感じる。	14	2	0	1		送迎時は、保護者様とお話出来る貴重な機会ではあるものの、ゆっくりとお話出来ない為、連絡帳やメール、お電話を活用した情報共有や直接お話しできる機会を増やしていきたい。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	6			○	保護者会の実施はできていないが、今後勉強会の場を作っていくよう予定している。	0	3	5	9	あるかどうか存じ上げないが、放課後等デイサービスにおける父母会の必要性を感じない。	保護者の方も一緒に学べる研修会や座談会を計画していく。同グループ内の見学会等、自社が提供できるサービスに関して知ってもらう機会を設けていく。
	7	○			苦情に関しては、社内の仕組みに添って対応している。	14	0	0	3		社内の仕組みに沿って、迅速かつ丁寧な対応を心掛けていく。起きたミスに対する事業所としての今後の対応は、保護者様にも丁寧に説明する事を意識していく。また再発防止への取り組みも徹底していく。
	8	○			日々、お電話や連絡帳、送迎時などのやり取りにて相談を受けることがあるが、スタッフの相談援助のスキルを身に付けていくことが必要だと感じる。	15	1	0	1		今後は、しばらく出来ていない保護者勉強会等も開催・活用しながら、ペアレントトレーニングを充実させていく。
	9	○			毎月1回日々の活動の様子を載せたLaboだよりを作成、配布している。 SNS (Instagram、Facebook) でも、子ども達の活動の様子を投稿していきたいと考えている。	17	0	0	0		引き続き、子ども達の活動の様子をよりしっかりと伝えられるようにHPやSNSの更新、Laboだよりの配布等に努めていく。
	10	○			契約時、または1年更新で、個人情報開示に関する聞き取りを行っている。	16	0	0	1		個人情報の取り扱いに関しては、保護者様からの聞き取りを元に、慎重に取り扱っていく。（SNS、チラシ等）
非常時等の対応	1	○			職員は定期的な確認を行い、保護者様には契約時に説明を行っている。今年は避難場所の見直しも行ったためメールにて再度周知を行った。	8	4	0	5	今年の大雨の際はすぐに連絡くださりありがとうございます。	引き続き、安心してご利用いただけるよう、大雨などの災害時には各ご家庭への丁寧な聞き取りを行っていく。 契約時の丁寧な説明と事業所での対応も保護者様に発信していくよう努めていく。また定期的な見直しと周知を行っていく。
	2	○			スタッフは年3回行っている。うち2回は子どもたちと一緒に実施している。	15	0	1	1		引き続き子どもたちとの避難訓練を継続して行っていく。より多くの方にご参加いただけるよう、しっかりとご案内を行い、実際の様子はLaboだより等で保護者様にもお伝えしていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標					
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点			はい		どちらとも いえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
非常時等の 対応 (続き)	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○			社内で虐待防止委員会を設置し、定期的な外部研修を行っている。また、年1回以上、外部研修を受講している。								引き続き外部研修、部署内研修等を行う中で、虐待防止に努めていきたい。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	○			個別支援計画に記載している。身体拘束があった場合は保護者様への説明と記録を合わせて行っていく。								引き続き、個別支援計画への記載と記録を残していく。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	○			契約時にヒアリングを行い、おやつ提供時やお料理イベント時には、出来る限りの配慮を行っている。								引き続き、契約時にヒアリングを行い、おやつ提供時やお料理イベント時には、出来る限りの配慮を行っていく。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	○			事故やヒヤリハットが起こった場合は、ヒヤリハットのフォーマットに記録し、社内で共有する事になっている。								今後もヒヤリハットの事例を重ね、スタッフ間で対策を考え実施していく中で、安心安全に利用してもらえる事業所にしていきたい。